

## 市原市認知症対策連絡協議会 第5回総会 議事録

日時：平成29年4月16日(日)10:00～10:45

場所：市原市勤労会館 YOU ホール 3階多目的ホール

司会：佐藤潤(白金整形外科病院)

出席：54名

1. 会長挨拶 千葉労災病院リハビリテーション科部長 小沢義典  
今年度は、総会終了後「認知症あんしんフェア」を行う。これによって、より市民の関心が高まることを期待する。
2. 議長選出  
議長：小出浩丸(特別養護老人ホーム辰巳萬緑苑)  
書記：安田清(千葉労災病院) 宅和政子(びりあさひ五所)

### 議題 1. 平成28年度活動報告について

(1) 活動報告について 副会長 高橋瑞穂

平成28年4月17日(日) 市原市認知症対策連絡協議会第4回総会(58名出席)

特別講演「認知症と生きるということ」

講師：メディカルクリニック柿の木坂院長 岩田誠先生

一般公演「私の介護体験～高次脳機能障害から認知症となった夫」

講師：公益社団法人認知症の人と家族の会千葉支部 阿部洋子様

(170名参加名)

平成28年7月28日(木) 第10回例会(64名参加)

- ・ミニ講演会「消費者生活センターの役割について」  
講師：市原市消費者生活センター所長 内山浩史氏様
- ・プロジェクト間の交流会・分科会(プロジェクトに分かれて検討)
- ・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

平成28年10月20日(木) 第11回例会(50名参加)

- ・ミニ講演会「小域福祉ネットワークの取り組みについて」  
講師：市原市社会福祉協議会 福田潤様 塩野谷夏基様
- ・特別養護老人ホーム萬緑苑施設長小出氏より、ふれあい買い物ツアーについて
- ・小沢会長より市民参加の市認協について
- ・事務局安田氏よりプロジェクト予算申請について
- ・分科会(プロジェクトに分かれて検討)
- ・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

平成29年1月26日(木) 第12回例会(56名参加)

- ・ミニ講演会「高齢者の運転免許更新について」

- 講師：千葉県警本部千葉運転免許センター長補佐 安井博文様
- ・分科会(プロジェクトに分かれて検討)
  - ・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

平成 28 年 12 月 25 日 (日) 認知症多職種協働研修

AM)市認協カフェ PM)多職種協働研修

- ・講演 1 「高齢者の薬物療法～認知症の視点からポリファーマシーについて学ぶ～」  
講師：東京大学大学院医学系研究科教授 秋下雅弘様
- ・講演 2 「薬剤師による服薬支援について」  
講師：市原市薬剤師会 小室裕保様

平成 28 年度役員会

H28.6/1 ・ 8/9 ・ 9/26 ・ 12/19 ・ H29.3/24 (5 回開催)

市認協ニュース

H28.7 月 ・ 10 月 ・ H29.1 月 (3 回発行)

#### 議題 2. 会計報告について

会計報告(会計 山越篤史)資料に沿って説明。  
会費は徴収していない。  
寄付で賄われている。

#### 議題 3. 監査報告について

監査報告(監査 細川清史)資料のとおり相違ない。

#### 議題 4. 役員について

(議長)役員の変更について承認を頂く。

【質疑応答】議題 1~4 一括。質疑無し。

【議決】議題 1~4 一括。拍手多数により承認。

#### 議題 5. 各プロジェクト平成 28 年度活動報告および平成 29 年度活動計画

《多分野連携プロジェクト》

目標：1)研修会を通じ、顔が見える支援者づくりを目指す。

ちいき会、かさね研修、市認協など、定期参加。

2) 多職種連携を進めるのにあたり、到達目標を定める。

①専門職向け、一般向けの相談窓口一覧表を作成する。

②多分野連携を行った事例集を作成する。

《若年性認知症対策プロジェクト》

前頭側頭型認知症のうち [進行性失語]の方の交流会を認知症カフェかさねにて開催

2016年7月16日(土) 12名 11月5日(土) 12名

2017年3月25日(土) 15名

今年度も、病気やコミュニケーション方法、日常についての情報交換を行う。9月3日に「若年性認知症フォーラム」を開催予定。

《認知症サポーターの活動推進プロジェクト》

認知症サポーターの知名度を上げ、サポーターの養成を推進するとともに、サポーターが認知症の人の支援を具体的な活動につなげるための方法を検討しています。

- ・いちほら認知症あんしんフェアにて寸劇、数字パズルなどを開催。
- ・ロバ隊長の裁縫などボランティアにて作成。

《在宅介護者を支えるマニュアル作成プロジェクト》

- ・「未来設計図」エンディングノートの試作品完成

認知症などで判断できなくなった時に、家族等に自分の生活様式や考え、持ち物等を伝えるよう工夫した。

- ・エンディングノート作成時の注意点などを書いたパンフレット作製

《認知症スクリーニングプロジェクト》

- ・認知症スクリーニングチェックシートを作成。
- ・辰巳地区敬老会 健康ブースでの活用。(H28.9.28)
- ・いちほら認知症あんしんフェア 認知症スクリーニングブースでの Cadi 用いての簡易認知症スクリーニング検査の施行。(H29.4.16)

※プロジェクトは H28 年度をもって終了。

「認知症検診」に関しては、既存のソフトを使用し、公共機関へ設置するなど、パソコン及び家電支援隊プロジェクトに取り込んで頂く事で合意済み。

《服薬支援ネットワークプロジェクト》

目的：在宅にて正しい服薬の実現

薬剤師の在宅訪問普及

医師、介護職への情報提供

かかりつけ薬局・薬剤師の啓蒙

オレンジシートの活用

多剤投与の改善

- ・医師多職種に向け薬剤師の在宅訪問の講演(2回/年)
- ・地域包括支援センターへ薬剤師の出前講座(4回/年)
- ・地域包括支援センターによるお薬手帳・薬剤アンケートの実施
- ・認知症多職種協働研修(28年12月25日)に協力
  - 小室氏が在宅患者訪問薬剤管理指導に関する講演
  - 東京大学大学院医学系研究科教授秋下雅弘先生講演

「高齢者の薬物療法～認知症の視点からポリファーマシーについて学ぶ～」

《送迎プロジェクト》

- ・各地域における取組・問題点を話し合った結果、認知症予防の観点から外出・通院の支援の可能性を探索しました。
- ・取り組みの一つとして、市社会福祉協議会と市内特別養護老人ホームとの協働で「買い物ツアー」が始まっている。
- ・現段階で姉崎地区・市津地区・辰巳地区で4つの社会福祉法人が地域貢献事業として取り組み始めているので、今後この動きがさらに広がることを期待したい。

《パソコン及び家電支援隊プロジェクト》

- ・介護者居酒屋への参加を奇数月の第2土曜日に行なった。
- ・今年度の開催数は合計6回である。
- ・活動の様子は平成28年9月7日読売新聞千葉版や平成29年3月4日シティライフに掲載された。
- ・参加者からは認知症を抱える家族は皆同様の悩みを抱えているという連帯感が生まれている。

《新規プロジェクト検討プロジェクト》

- ・介護者居酒屋(パソコン家電支援隊プロジェクトと共同)
- ・平成28年3月より、奇数月の第2土曜日、午後6時から辰巳台の居酒屋にて開催中。
- ・毎回、来店やスカイプなどで認知症の当事者や介護者、ボランティア、専門職などが集まり、和やかな話し合いがもたれている。

《フェスタプロジェクト》

- ・市認協を市民に知ってもらい地域に溶け込むことを目的に10月に発足。
- ・4月の総会後にイベントを開催出来るよう準備、活動した。12月25日プレとして多職種協働研修の前に「市認協カフェ」を開催。

【質疑応答】各項目についてなし

以上、この議事録が正確であることを証します。

議事録署名人 菊池信子 

議事録署名人 岩本明子 